

国立科学博物館企画展「あしたのごはんのためにー田んぼから見える遺伝的多様性ー」
関連シンポジウム

FOOD
in

風土

米と魚vs麦と乳^{ミルク}

2010年11月27日(土)

13:30~16:30

味の素グループ高輪研修センター 大講義室

定員:250名(無料・要申込)

主催:総合地球環境学研究所「農業が環境を破壊するとき」プロジェクト、財団法人味の素食の文化センター
後援:農林水産省、朝日新聞社、味の素株式会社

写真上:2004年8月 新疆ウルムチ市郊外/下:2004年8月 新疆ウイグル自治区 (佐藤洋一郎撮影)

ユーラシア大陸において、日本をはじめとする東の風土の食生活を支えてきたのが、米と魚。それに対して、西の風土の食生活を支えてきたのが、麦と乳。ここでは、この二つの食のセットを取り上げ、風土と食の多様性、食と環境問題との関係について考えます。

PROGRAM 司会：花森 功仁子（株式会社ジェネテック）

13:30 開会の挨拶	立本 成文 (総合地球環境学研究所所長) 山口 範雄 (財団法人味の素の文化センター理事長)
13:40 基調講演	「FOOD in 風土 — 米と魚vs麦と乳」 高田 公理 (佛教大学教授)

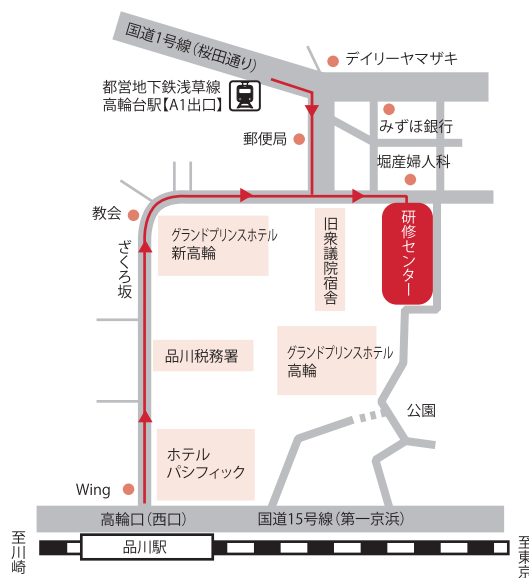
休憩

14:45 パネルディスカッション	「麦と乳 — 西の風土にみる牧畜と食文化」 ミルック パネラー 辻本 壽 (鳥取大学教授) 小長谷 有紀 (国立民族学博物館教授) 山本 紀夫 (国立民族学博物館名誉教授) 飯野 久和 (昭和女子大学大学院教授) コーディネーター 佐藤 洋一郎 (総合地球環境学研究所副所長・教授)
16:30 閉会の挨拶	佐藤 洋一郎 (総合地球環境学研究所副所長・教授)

■ 会場：味の素グループ高輪研修センター

〒108-0074 東京都港区高輪3-13-65
TEL 03-5488-7318 FAX 03-3445-7965

- JR・京浜急行線【品川駅】高輪口（西口）から徒歩10分
- 都営地下鉄浅草線【高輪台駅】から徒歩3分



■ 参加申込について 必要事項をご記入の上、E-Mail、FAXまたは郵送にて11月10日までにシンポジウム事務局までお申込ください。

FOOD in 風土 参加申込書

① お名前

(ご同伴者がいらっしゃる場合には、その方のお名前・ふりがなもご記入ください。)

ふりがな

お名前

② ご住所 (郵便番号もご明記ください。)

③ 電話・FAX・メールアドレス

をご記入の上、下記シンポジウム事務局宛にお申込ください。FAXでお申込の方は、右に必要事項を記入し、そのまま送信してください。

FAXまたは郵送でお申込の方には入場券をお送りいたします。シンポジウム当日で持参ください。

E-Mailでお申込の方には、受付確認のメールを送信した後、入場券を送信いたしますので、出力してご持参ください。

※ご記入いただいた個人情報を当受付以外の目的のために使用したり、ご本人の承諾なしに開示したりすることはありません。

〒

ご住所

TEL

FAX

メールアドレス

申込先

〒104-8680 郵便事業株式会社晴海支店郵便私書箱80号 「FOOD in 風土」シンポジウム事務局係
e-mail foodsympo@ajinomoto.com FAX番号 03-3555-0890

